

- 1 会議の名称 中濃特別支援学校 第二回 学校評議員会
- 2 会議の構成
- | | | |
|---------|------------------------|-----|
| 【学校評議員】 | 中島 望 様 (株)DAI | 取締役 |
| | 小島 祐治 様 (社)関青年会議所 | 理事長 |
| | 植野 明 様 向山町自治会 | 会長 |
| | 杉山 祐子 様 中部学院大学短期大学部 | 教授 |
| | 伊藤 園美 様 岐阜県立ひまわりの丘第一学園 | 次長 |
- 【学 校】校長 P T A副会長(田代真理子様) 事務部長 教頭(2)
 小学部主事 中学部主事 高等部主事(2) 教務主任
- 3 会議の目的 学校運営の改善に資する意見や助言を幅広く聴取する。
- 4 会議の開催 令和2年2月4日(火)
- 5 会議の概要
- ・本年度教育の報告(各学部より)
 - ・学校評価アンケート集計結果報告
 - ・授業参観(分教室実施作業学習)
 - ・学校評議員様からのご意見、ご提言
- 意見1 (伊藤様)
- ・教育活動報告であった「さしすせそ(最悪を想定して、慎重に、素早く、誠実に、組織で)」「いつでもメモ」は施設でも活用したい。
- 意見2 (植野様)
- ・小学部との交流の県で感謝状を頂き、ありがとうございました。これからも継続していくことが大切だと思っています。
- 意見3 (小島様)
- ・学校活動について周知がされていないので、地域に宣伝をしてはどうか。交流で学校に来校される方々にも模擬喫茶に来てもらえるとよい。
 - ・アンケートいじめ・体罰については「分からない」という回答が多いので、年間通してどれだけあったのか保護者に報告する機会を設けてはどうか。
 〈回答〉→P T A総会いじめ件数、内容等を報告している。
 →定期的に情報交換会を行い、生徒の様子を共通理解する機会を設けている。
- 意見4 (中島様)
- ・福祉事業所が学校を見学できる機会が増えると実習や就労にもつながると思うので、機会を増やしてほしい。企業にも開かれた学校であるとありがたい。
- 意見5 (田代様)
- ・P T Aで学校見学や事業所見学は参加したことがあるが、本校の見学をすることがなかなかないので、今回のような機会が増えるとありがたい。
- 意見6 (杉山様)
- ・小学部では山歩きで、体の基本作りだけでなく季節感や自然環境への気づきが多く得られると思う。今後も怪我や交通安全への配慮をして継続してほしい。
 - ・中学部では地元中学との交流が双方の生徒にとってとても良い刺激になるとの報告に感心した。仲間意識の醸成には1年に2回あると良いと思う。
 - ・高等部では地域活動が多く行われることで社会に出る準備が進むことが分った。販売時、自信をもってアピールできるのは「挨拶ができる子」の成果だと感じる。
- 6 会議のまとめ
- 交流は長年やっているが、いただいたご意見を参考に、発想を変えて何ができるかで、生徒たちにどうフィードバックできるか検討していきたい。
- いただいたご意見を参考として、今後もよりよい学校にしていくよう職員一同努力していきたい。